５／28（水）の行事

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時　　５月22日（木）　10時00分

発表項目 （行事名）	2025年度日本生命財団「児童・少年の健全育成助成」「生き生きシニア活動顕彰」贈呈式		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	日本生命財団が行っている「児童・少年の健全育成助成」「生き生きシニア活動顕彰」の道内助成対象団体への贈呈式が開催されます。 １　日　　時　令和７年５月28日（水）10時00分～11時30分 ２　場　　所　ニューオータニイン札幌 （札幌市中央区北２条西１丁目１－１　℡(011)222-1111） ３　出 席 者　公益財団法人日本生命財団　理事長　長谷川（はせがわ）　靖（やすし）　様 日本生命保険相互会社　理事札幌支社長　加藤（かとう）　雅敏（まさとし）　様 北海道副知事　加納（かのう）　孝之（たかゆき） 助成対象団体代表（15団体）ほか ４　次　　第　・開会 ・日本生命財団　理事長あいさつ ・北海道　　副知事あいさつ ・目録贈呈 ・助成対象団体代表者謝辞 ・閉会 ５　助成団体一覧　別添のとおり		
参考	・日本生命財団は、昭和54年設立時から児童・少年の健全育成を図るため、地域で活動する団体・グループに対し、その活動に要する物品を助成。 平成19年度からは高齢者の地域貢献・社会貢献活動を顕彰。 （令和７年度道内の助成予定） 児童・少年の健全育成助成：９団体　476万円 生き生きシニア活動顕彰　：６団体　30万円　計506万円 ※道内累計（S54～R７）：501団体　２億9,769万円		

報道（取材）に当たってのお願い		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)

担当（連絡先）	主催担当者：日本生命保険相互会社札幌支社 支社担当部長　杉村　卓弥　℡ 011-251-9283 道担当者：環境生活部くらし安全局地域安全課 課長補佐　梅田　敦史　TEL 011-204-5663　内線 24-192

2025 年度　日本生命財団
「児童・少年の健全育成助成」「生き生きシニア活動顕彰」助成団体一覧

児童・少年：９　シニア：６　計15団体　506万円

区分		団体名（所在地）	助成・顕彰内容	助成額（万円）	活動概要	摘要
児童・少年（助成）	1	清水ジュニアブラスバンド（清水町）	楽器一式	60	芸術（音楽・演劇・美術等）を通しての児童の健全育成	
	2	根室野球少年団（根室市）	ピッチングマシーン一式	52	地域に根ざしたスポーツ活動（武道を除く）を通しての児童の健全育成	
	3	音楽教室mamanote（美幌町）	楽器一式	55	芸術（音楽・演劇・美術等）を通しての児童の健全育成	
	4	上江別ブルードリームズ（江別市）	ユニフォーム	44	地域に根ざしたスポーツ活動（武道を除く）を通しての児童の健全育成	
	5	上ノ国町柔道スポーツ少年団（上ノ国町）	柔道畳	60	武道（剣道・柔道等）を通しての児童の健全育成	
	6	特定非営利活動法人ゆめみ～る　ひまわりのおうち（登別市）	タブレット・机・椅子等一式	57	児童・少年の居場所づくり支援、子ども食堂、学習支援（フリースクールを除く）	
	7	特定非営利活動法人地域生活支援ネットワークサロン　ぽれっこ倶楽部（釧路市）	療育遊具一式	60	障がいのある子ども達の療育支援・ノーマライゼーション推進	
	8	こども食堂「げんき」（岩見沢市）	エアコン	40	児童・少年の居場所づくり支援、子ども食堂、学習支援（フリースクールを除く）	
	9	一般社団法人札幌サドベリースクール（札幌市）	スキー・スノーボード用具一式	48	フリースクールの運営（不登校の小留学生・高校生を対象とした活動）	
			計	476		
シニア（顕彰）	1	津花町老人会　津花会（江差町」）	活動顕彰	5	高齢者の居場所（サロン）づくり	
	2	登別朗読ボランティアの会（登別市）	活動顕彰	5	手話・点訳・朗読ボランティア活動	
	3	岩見沢さつきの会（岩見沢市）	活動顕彰	5	手話・点訳・朗読ボランティア活動	
	4	精神保健ボランティアサークル友（you）（岩見沢市）	活動顕彰	5	その他障がい者支援活動	
	5	岩見沢女性ドライバー部会（岩見沢市）	活動顕彰	5	その他地域づくり活動	
	6	在宅介護ボランティア輪っこの会（岩見沢市）	活動顕彰	5	その他高齢者支援活動	
			計	30		
			合計	506		

２０２５年度ニッセイ財団

児童･少年の健全育成助成（物品助成）の概要

未来をになう子どもたちが、心ゆたかに成長することをめざして

日本生命財団は、１９７９年７月の設立以来、人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資することを目的として活動しております。
児童・少年の健全育成には、地域社会を構成する住民や諸組織が手を携え、地域活動の一環として、子どもたちの生きる力を育んでいくことが必要です。
このような活動に定期的かつ日常的に継続して取り組んでいる民間の団体・グループに対して、その活動に常時・直接必要な物品を助成しております。

おかげさまで財団設立以来４７年継続して、全国１万５千を超える団体に助成

児童・少年の健全育成助成（物品助成）は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。
助成金額は、１団体３０万円～６０万円です。
助成物品は、助成対象活動を継続的に展開するためになくてはならない直接活用物品で、子どもたちが待ち望み、子どもたち自らが主体的・継続的に共有して活用する物品としております。

◆２０２５年度は、全国各地の３２３団体に総額１億５，７７９万円の助成を行います。
◆財団設立から４７年の累計実績は、１万５千団体・９２億円を超えております。

子どもたちの生きる力を育むさまざまな活動を応援

次のような活動を行っている団体に助成いたします。

＜２０２５年度助成３２３団体の内訳＞

「自然と親しむ活動」	４１団体	野外活動、自然体験活動、自然観察、天体観測、自然・森林の保護活動、野外活動を通してのジュニアリーダー育成活動
「異年齢・異世代交流活動」	１５８団体	異年齢集団の交流活動、地域に根ざしたスポーツ活動、芸術活動、郷土文化芸能の保存伝承活動
「子育て支援活動」	７１団体	子育てサークル活動、子育て支援ネットワーク活動、地域に根ざした文庫、読み聞かせ、人形劇活動、児童少年の居場所づくり支援活動、子ども食堂、学習支援活動（フリースクールを除く）
「療育支援活動」	２０団体	障がいのある子どもたちの療育支援活動、ノーマライゼーション推進活動
「フリースクール活動」	３３団体	フリースクール運営活動（不登校の小中学生・高校生を対象とした活動）

情報誌「Ｆｕ－ｍｉ」の発行

当助成が多くの方々のお役に立つことを願い、助成制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容および助成物品の活用事例などをご紹介する情報誌「Ｆｕ－ｍｉ」を発行しています。

＊当財団のホームページでＰＤＦ版をご覧いただけます。

以　上

２０２５年度ニッセイ財団

生き生きシニア活動顕彰の概要

元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動に対して

わが国は少子高齢社会を迎えており、元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動が注目されております。
日本生命財団では、高齢者が主体となって行う地域貢献活動を顕彰し、地域活動の輪を広げてまいります。

２００７年の制度発足からこれまでに３，６９０団体を顕彰

生き生きシニア活動顕彰は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。
児童・少年の健全育成活動、地域づくり活動、高齢者支援活動、障がい者支援活動などの高齢者による“生き生きシニア活動”に取り組む民間の団体・グループに対して、１団体５万円の顕彰を行います。

◆２０２５年度は、全国各地の２３０団体に１，１５０万円の顕彰を行います。
◆２００７年の制度発足からの累計実績は、３，６９０団体・１８，４５０万円となっております。

さまざまな“生き生きシニア活動”を応援

次のような活動を行っている団体を顕彰いたします。

＜２０２５年度顕彰２３０団体の内訳＞

「児童・少年の健全育成活動」	３６団体	（登下校時見守り活動、伝承芸能の継承等）
「障がい者支援活動」	１４団体	（手話・点訳・朗読ボランティア活動等）
「高齢者支援活動」	１３２団体	（高齢者向けサロン、訪問ボランティア等）
「地域づくり活動」	４８団体	（環境美化・環境保護活動、ボランティアガイド活動等）

情報誌「Ｆｕ－ｍｉ」の発行

当顕彰が多くの方々のお役に立つことを願い、顕彰制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容などをご紹介する情報誌「Ｆｕ－ｍｉ」を発行しています。

＊当財団のホームページでＰＤＦ版をご覧いただけます。

以　上